【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【公開番号】特開2014-2380(P2014-2380A)
【公開日】平成26年1月9日(2014.1.9)
【年通号数】公開・登録公報2014-001
【出願番号】特願2013-119656(P2013-119656)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/20　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/20　　５２０

【手続補正書】
【提出日】平成28年6月17日(2016.6.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも第１のローラ及び第２のローラを含む定着ユニットにより処理される、少なくとも第１のローラに関連する第１の面と第２のローラに関連する第２の面とを有する基材に離型剤を塗布する方法であって、
１つ以上の印刷画像を前記基材に塗布する印刷の作業種類を、前記１つ以上の印刷画像を前記第１の面及び前記第２の面のうちの一方の面に塗布する片面印刷の作業種類と、前記１つ以上の印刷画像を前記第１の面及び前記第２の面に塗布する両面印刷の作業種類のうちの一方に決定するステップと、
前記決定した印刷の作業種類を処理して、前記決定した印刷の作業種類に対応する離型剤の塗布命令を少なくとも部分的に決定するステップと、
前記離型剤の塗布命令に少なくとも部分的に基づいて、前記離型剤を、少なくとも部分的に前記基材に塗布するステップと、を含み、
片面印刷の作業種類の命令には、前記片面印刷の作業種類に対する前記基材に塗布される前記離型剤の量に関する離型剤基準塗布値が含まれ、
両面印刷の作業種類命令には、前記両面印刷の作業種類に対する前記基材に塗布される前記離型剤の量に関する前記離型剤基準塗布値より小さい両面印刷の離型剤塗布値が含まれ、
前記決定した印刷の作業種類が両面印刷の作業種類である場合、
少なくとも部分的に、前記基材に塗布される前記離型剤の量を、両面印刷の離型剤塗布値が前記第１の面及び前記第２の面のうちの一方の面に塗布されるように設定するステップと、
少なくとも部分的に、前記第１の面及び前記第２の面のうちのもう一方の面に塗布される前記離型剤の量を、前記離型剤基準塗布値と同じにするステップと、をさらに含む方法。
【請求項２】
前記決定した印刷の作業種類が両面印刷の作業種類であり、
少なくとも部分的に、前記基材に塗布される前記離型剤の前記量を、両面印刷の離型剤の塗布値が前記第１の面及び前記第２の面の両方に塗布されるようにするステップをさらに含む請求項１に記載の方法。

【請求項３】
前記離型剤基準塗布値が、５ｍｇ／Ａ３用紙サイズ～２０ｍｇ／Ａ３用紙サイズの範囲である、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記離型剤基準塗布値が、７ｍｇ／Ａ３用紙サイズ～１７ｍｇ／Ａ３用紙サイズの範囲である、請求項３に記載の方法。
【請求項５】
前記離型剤基準塗布値が、８ｍｇ／Ａ３用紙サイズ～１４ｍｇ／Ａ３用紙サイズの範囲である、請求項４に記載の方法。
【請求項６】
前記両面印刷の離型剤の塗布値が、４ｍｇ／Ａ３用紙サイズ～８ｍｇ／Ａ３用紙サイズの範囲である、請求項１に記載の方法。
【請求項７】
前記両面印刷の離型剤の塗布値が、５ｍｇ／Ａ３用紙サイズ～７ｍｇ／Ａ３用紙サイズの範囲である、請求項６に記載の方法。
【請求項８】
印刷に有用な装置であって、
少なくとも１つのプロセッサと、
１つまたは複数のプログラムのためのコンピュータプログラムコードを含む少なくとも１つのメモリと、
を備え、
前記少なくとも１つのメモリと前記コンピュータプログラムコードが、前記少なくとも１つのプロセッサによって、前記装置に少なくとも、
１つ以上の印刷画像を前記基材に塗布する印刷の作業種類を、前記１つ以上の印刷画像を前記第１の面及び前記第２の面のうちの一方の面に塗布する片面印刷の作業種類と、前記１つ以上の印刷画像を前記第１の面及び前記第２の面に塗布する両面印刷の作業種類のうちの一方に決定すること、
前記決定した印刷の作業種類を処理して、前記決定した印刷の作業種類に対応する離型剤の塗布命令を少なくとも部分的に決定すること、および
前記離型剤の塗布命令に少なくとも部分的に基づいて、少なくとも部分的に前記離型剤の任意量を基材に塗布すること、
を実行させ、
片面印刷の作業種類の命令には、前記片面印刷の作業種類に対する前記基材に塗布される前記離型剤の量に関する離型剤基準塗布値が含まれ、
両面印刷の作業種類命令には、前記両面印刷の作業種類に対する前記基材に塗布される前記離型剤の量に関する前記離型剤基準塗布値より小さい両面印刷の離型剤塗布値が含まれ、
前記決定した印刷の作業種類が両面印刷の作業種類である場合、前記装置に、さらに、
少なくとも部分的に、前記基材に塗布される前記離型剤の前記量を、両面印刷の離型剤の塗布値が前記第１の面及び前記第２の面のうちの一方の面に塗布されるようにさせ、
少なくとも部分的に、前記第１の面及び前記第２の面のうちのもう一方の面に塗布される前記離型剤の量を、前記離型剤基準塗布値と同じにさせる、装置。
【請求項９】
前記決定した印刷の作業種類が両面印刷の作業種類であり、
前記装置に、さらに、
少なくとも部分的に、前記基材に塗布される前記離型剤の前記量を、両面印刷の離型剤の塗布値が前記第１の面及び前記第２の面の両方に塗布されるようにさせる、請求項８に記載の装置。
【請求項１０】
前記離型剤基準塗布値が、５ｍｇ／Ａ３用紙サイズ～２０ｍｇ／Ａ３用紙サイズの範囲

である、請求項８に記載の装置。
【請求項１１】
前記離型剤基準塗布値が、７ｍｇ／Ａ３用紙サイズ～１７ｍｇ／Ａ３用紙サイズの範囲である、請求項１０に記載の装置。
【請求項１２】
前記離型剤基準塗布値が、８ｍｇ／Ａ３用紙サイズ～１４ｍｇ／Ａ３用紙サイズの範囲である、請求項１１に記載の装置。
【請求項１３】
前記両面印刷の離型剤の塗布値が、４ｍｇ／Ａ３用紙サイズ～８ｍｇ／Ａ３用紙サイズの範囲である、請求項８に記載の装置。
【請求項１４】
前記両面印刷の離型剤の塗布値が、５ｍｇ／Ａ３用紙サイズ～７ｍｇ／Ａ３用紙サイズの範囲である、請求項１３に記載の装置。